

手作り赤備え鎧
展示

講師 おかざき塾・歴史教室 主宰

市橋 章男 氏

BS朝日「歴史発見城下町へ行こう！」等に出演
ふるさと岡崎の歴史から学ぶため、
平成十七年十月より二ヶ月毎に歴史教室を開催

徳川家康公の天下取りを支えたNo.2の生き方

家康公の遠州侵攻と 井伊直政



日時 2015年 7月5日(日)

13:00 開場・13:30 開演

会場 浜松市みをつくし文化センターホール(北区細江町)

料金 100円(資料代)

主催 NPO奥浜名湖観光まちづくりねっと事務局 053-542-0480(龍潭寺内)

～講演内容～

岡崎での苦難の時代を経て遠州へ侵攻し、初めて他国の領土を支配した徳川家康公と、三方ヶ原合戦のあと家康公に仕えた郷土出身武将・井伊直政の生き方をたどります。

あかぞな 「赤備え」って何？

戦国最強といわれた甲斐の武田軍に山県三郎右兵衛尉昌景という勇猛な武将がおり、この武隊が赤い鎧を着けていたため赤備えと呼ばれていました。

天正十年(1582年)武田軍が敗れると、その勇猛な部隊を徳川家康公は井伊直政の配下に付けました。そして全軍を赤い鎧で編成させ、ここに「井伊の赤備え」が誕生！

天正十二年(1584年)直政は赤備えを率いて小牧長久手の合戦で活躍し、以来「井伊の赤鬼」と恐れられました。



ロビーにて 井伊の手作り赤備え展示

(長山剛士氏作)



浜松市みをつくし文化センター

浜松市北区細江町気賀369
TEL.053-523-3116

<交通アクセス>

- *天竜浜名湖鉄道「気賀駅」下車、徒歩1分
- *JR浜松駅(北口)バスターミナル15番乗り場から「40尾張町・市役所・聖隷三方原病院気賀」行きで、「気賀駅前」下車、徒歩2分
- *駐車場有り